

農水省跡地利用施設建設基本計画策定委員会（第7回）会議要録

- 日 時 平成17年2月24日（木） 午後6時30分～9時
- 場 所 武蔵野公会堂第3会議室
- 出席者 古田土委員長・永並副委員長・細野委員・清水委員・鈴木委員・檜山委員・藤井委員・小森委員・塩沢委員・南條委員・その他(幹事会委員・事務局)

1. 開会

【委員長】第7回農水省跡地利用施設建設基本計画策定委員会を開催する。

【事務局】資料確認

- ・ 農水省跡地利用施設建設基本計画策定委員会最終報告書(案)
- ・ 市民意見(39番)及び要約版

2. 議事

【委員長】本日は、最終報告書について議論をしていく。事務局より説明を。

【事務局】基本は、中間のまとめの考え方である。今回新たに記述した部分を中心に説明する。

IT化の基本方針：この施設は、館内をブラウジングし、様々な情報を自ら手に入れることを基本としている。時代背景などを考慮し、様々な情報を入手するためには、ITの設備などが必要となる。パソコンをすでに持っている利用者に対しては、インターネットにつなげる環境も整える。システム体系図では、中央図書館を中心とする貸し出し・予約のシステムのほか、館内情報の利用案内、予約状況をインターネットで確認できるシステムについて記述した。

ユニバーサルデザインのアプローチ図：エレベーターや「だれでもトイレ」などを設置し、使いやすい、人に優しいシステムにしていくことを記述した。

建築条件：市民意見の中に、北側公園部分も含めた用地全体が施設にかわってしまうというイメージを持った市民の意見もあったので、26ページで、北側の公園は残し、南側に施設を建てる、という文章をつけ加えた。

利用形態と利用者数の想定：既存の図書館の実績などを考慮に入れ、利用者を想定した。

交通対応：東京都の駐車場条例、市の自転車等の適正利用及び放置防止に関する条例の付置義務台数を確保していくことと、周辺渋滞の緩和のため、様々な検討が必要だということを記述した。

公園の整備構成：今回、特徴的な点は、防災の機能について追加した点だ。

建築家による建築/公園デザイン：33ハイフンがついているページが、建築家による建築デザイン、あるいは公園デザインになる。

管理運営方針：市の財政出資援助団体を指定管理者の対象とした。西部図書館は、前倒しで指定管理者制度を導入する。生涯学習事業についても、指定管理者に一部移管する。

事業・管理運営計画策定への市民参加：開館までの準備期間に、施設の運営方法、事業計画に関して、市民と検討をしていく。

事業手法の検討と総事業費の算出：概算で建設費は54億円。その他費用を加算すると61億円になり、人件費、維持管理費は3億7,000万円だ。事業手法は、従来型の事業手法で行ない、コスト削減を図りながら事業を進めていく。

建設スケジュール：平成20年度の開館を目指す。

【委員長】前回の検討、議論を踏まえ、新たに記述した部分を中心に説明があったが、意見、質疑をお願いしたい。

【委員】IT化の基本方針で、例えば武蔵野アーカイブスについては、少し具体的な記述が必要だ。23ページの建築計画の基本的な考え方は、川原田氏の思想やデザインに基づいて作られているはずなので、特定の部分を「川原田康子氏」云々とする書き方は、適切ではない。次に管理運営方針だが、指定管理者制度のメリットは、機能間の一体性や組織の硬直化を回避することができるという表現の方が良い。さらに、38ページの市民参加についての箇所では、市民がどこまで、また、どのような形で参加するのかを具体的に書く必要がある。

【委員長】委員より指摘されたようなところを、もう一度検討する必要がある。

【委員】7ページのユニバーサルデザインへの配慮だが、「障害者、高齢者、青少年、子ども、外国人などの利用に十分配慮し」とあるが「など、多様な人々の利用に」というような記述の方が良い。12ページの電子メディアを備えた情報ブラウジングコーナーについてだが、電子メディアの活用は、障害を持つ人にとっても非常に良いことでもある。「視聴覚障害を持つ人々にも利用できる多様な」といったような文章を加えてはどうか。30ページの公園のコンセプトの書き出しは、緑と一体になったということの方が良い。最後に6ページの「(2)フレキシビリティを確保する」という部分で、「将来の利用形態の変化に対応できる構造」とあるが、ここに「構造や設備」という言葉を入れたほうが良い。

【委員】39ページの事業費だが、総事業費の算出方法に「使用料収入は、年5千万円の見通しである」とあるがどういう意味か。

【事務局】会議室やスタディールームなどの使用料金収入として記述した。

【委員】すべての施設から料金を取るわけではないということか。

【事務局】そうだ。

【委員】維持管理費が1億8,000万円、人件費が1億9,000万円としているが、何を基準として算出したのか。

【事務局】中央図書館を参考に算出した。

【委員】大体このぐらいでできる、ということか。

【事務局】そうだ。

【委員】IT化のところで、いわゆるネットワークのサービス、それからデータベース的なオンライン検索とあるが、映像ソフト購入などの運用経費も含まれているのか。

【事務局】そうだ。図書館の中のネットワークは、すでに中央図書館を中心に形成されているものを利用するが、その他電算的な部分は、経費に含まれている。

【委員】情報化については、導入後も更新に費用がかかるので、注意が必要だ。BDSは、開館まで時間的に余裕があるので、技術の進歩とコストを見ながら進めていくのが望ましい。

【委員】プレイスペースについて、バスケットゴールを1つという記述は必要ない。用途を限定し過ぎている。

【事務局】地下2階のスペース上、例えば、バドミントンのようなコートの確保は難しい。最低限、体を動かせる程度の広さしかないという表現がこういう形になった。

【委員】十分なスペースではないことは理解できるが、もう少しイメージを広げられるような言い方のほうが良い。

【委員】コストに関する記述を報告書にきっちり書かないと、説得力はないのか。試算が困難な部分もかなりあると思う。

【事務局】この表現はやや粗いので、もう少し丁寧な書き方に修正する。概算として、総事業費を出すことは、管理運営方針にもかかわってくるので、触れておかななくてはいけない。

【委員】13ページのフォーラムの記述について、少し広い範囲で、このフォーラムという場が理解できるように書いたほうが良い。

【委員】フォーラムという言葉は広義のフォーラムと狭義のフォーラムとして使われているため、ややわかりづらい。狭義のフォーラムとして使われている「武蔵野市フォーラム（仮称）」は、様々な活動の中の一つと位置づけた方が良い。

【委員】「スポーツ振興事業団を、本施設の管理運営を含む生涯学習スポーツ事業を」とあるが、そこまで踏み込む必要があるのか。

【事務局】この施設は、文化・教育施設であり、教育委員会所管の施設である。指定管理者制度で運営するなら、状況から考え、こういう方法が一番実際的である。事業を進めていく段階では、早く団体を特定し、準備を始めなければならない。

【委員長】市民の意見の中に、敷地全体に建物を建設すると誤解しているもの

があった。最初の「はじめに」のあたりにも、北側に公園、そして南側に建物という文言をはっきり入れる必要がある。

【委員】公園計画については、もう少し具体的に、あるいは明確な形でコンセプトの部分に記述した方が良い。

【委員】35ページの管理運営方針については、方向性として、これで良いと思う。ランニングコストの部分で、IT関連のコストは試算しにくい。また、西部図書館の移転や生涯学習事業の移管によるコストの削減については、どこまで書くのか。

【事務局】トータルコストとして、削減効果があることを記述することは必要だ。

【委員】総費用についても、条件別に何種類か試算を出したほうが、数字だけが一人歩きする恐れはなくなると思う。

【事務局】あまり細かい表現も困難なので、概算でいくとこのくらいだという表現に工夫していきたい。

【委員長】本日の意見を参考に事務局で修正を行い、各委員とやり取りをしてもらいたい。

【委員長】それでは、本日はこれで閉会としたい。

【事務局】次回の日程

3月25日(金) 場所：武蔵野公会堂